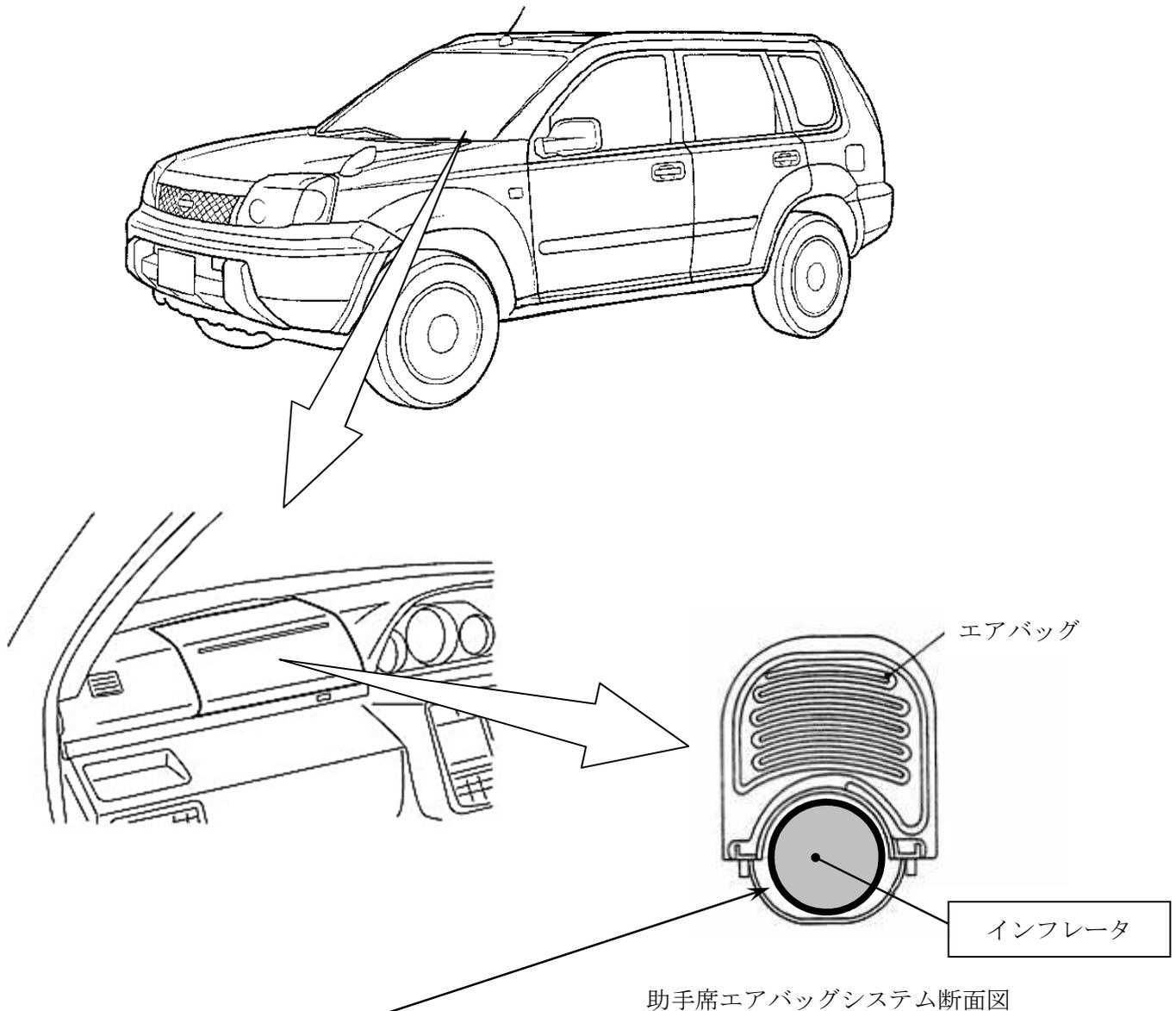


改善箇所説明図



助手席エアバッグシステム断面図

基準不適合発生箇所

助手席用エアバッグのインフレーター（膨張装置）において、市場回収品を調査した結果、インフレーター容器に気密不良のものがあることを確認した。そのため、長期間使用する過程で大気中の水分がインフレーター内部に浸入してガス発生剤が吸湿し、エアバッグ展開時に正常に展開しないおそれがある。

改善の内容

全車両、予防的措置として、当該インフレーター容器の気密点検を行ない、気密不良のものはインフレーターを新品と交換、または、助手席エアバッグの機能を停止するとともに、助手席サンバイザ部に当該エアバッグが作動しない旨の警告を表示する。

また、交換用部品が準備できた段階で、年式の古いものから順次新品と交換する。なお、交換部品については全数回収して原因調査を実施する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注： は、交換部品を示す。